

くすのき2・3組 自立活動学習指導案

1 単元名 「修学旅行でおみやげを買うことができるようになるう」

2 本 時 平成31年2月8日（金） 第4校時 くすのき3組教室

3 本時の指導観

生徒は前時まで、修学旅行の行程の確認を行っている。修学旅行の2日目の京都駅などでおみやげを買うことになるが、その際にお金の計算やその場で何を買うかなどを考えたりすることの経験が少ない生徒が多く、何を買うかを事前に考えて予算内で買うことができるように計画を立てることが必要である。

そこで本時では、既習事項を確認する場を設定し、当日に買い物をスムーズに行うことができるようにする。次に、本時の課題を提示し、買い物をを行うために拝観料や食事代を計算して、差し引いたおこづかいの中から買いものをするを伝える。そして、京都で買うおみやげについての資料を提示し、自分で買いたいおみやげを選び、みんなで交流活動を行う場を設定する。

4 主 眼

自分が買いたいた商品を選び、電卓を使って合計金額を正確に計算することができる。

5 どのような思考ツールを活用して、生徒の考えを広げたり深めたりするかの工夫点(本年度の重点項目)

【ステップチャート】… 決められたおこづかいの中からおみやげを選んで購入する流れを説明することができるように、ステップチャートを活用する。

6 準 備 京都のおみやげ一覧・学習プリント・電卓・お金カード

7 展 開

| 段階 | 学習活動・学習内容 | 具体的な支援 | 評価の観点(方法) |
|------|--|---|--|
| つかむ | 1 前時までの学習内容を振り返る。 2 本時の課題を知り、めあてを設定する。 (1)課題を把握する。 (2)めあてを確認する。 | ○お金の種類や、お店でのルールの確認を行う。 ○修学旅行でおみやげを買うことができるように、写真などによるの視覚支援を行う。 | |
| さぐる | めあて 修学旅行でおこづかいの中からおみやげを買うために計画を立てよう。 | | |
| 深める | 3 課題について考える。 (1)個人で考える。 ①京都で買いたいおみやげを考える。 Y児・T児…自分で買いたいものを選ぶ。 K児…T2と一緒に買いたいものを選ぶ。 ②おみやげが予算内で買えるか確認する。 Y児・T児…選んだものを自分で電卓を使って計算する。 K児…T2と一緒に電卓を使って計算する。 | ○できるだけ自分で欲しいおみやげを選ばせて、実際に計算しながら予算内に収まるかを考えさせる。 ○予算内に収まらない場合は、別のものを選ぶように促す。 ・たくさんのおみやげから迷いながら、考えて何度もチャレンジできるようにする。 | ・既習事項を活用しておこづかいの範囲内でおみやげを買う計画ができてきているか。(学習プリント・様相観察) |
| まとめる | (2)友だちや教師と交流する。 4 本時の学習を振り返り、学んだことや気づいたことを発表する。 | ○自分が買うものを発表させて交流活動を行う。 ○支払いの際、おつりとレシートを受け取ることを忘れないように留意させる。 | |

【授業の実際】

○つかむ段階について（既習事項とのズレ・隔たりから内面に生じた問い・課題を設定する場面）

生徒は前時まで、修学旅行の行程の確認を行っている。修学旅行の2日目の京都駅などで、おみやげを買うことになるが、その際にお金の計算やその場で何を買うかなどを考えたりすることの経験が少ない生徒が多く、何を買うかを事前に考えて、予算内で買うことができるように計画を立てることが必要である。

そこで本時では、自分が買いたいた商品を選び、電卓を使って、合計金額を正確に計算することができることをねらいとした。そのために、既習事項を確認する場を設定し、当日に買い物をスムーズに行うことができるような場を設定した。生徒は、持ってくるおこづかいの金額や、買い物をを行う場所の確認をすることで、修学旅行の活動の流れを確認することができた。



【資料1】導入の場面

○さぐる～深める段階について（思考ツールを活用して自己内対話をする場面）

まず、買い物をを行うために拝観料や食事代を計算して、差し引いたおこづかいの中から買いたいものをすることを伝えた。次に、京都で買うおみやげについての資料を提示し、自分で買いたいおみやげを選ばせる場を設定した。①個人で考える時間と②予算内で買うことができるかを確認する場をそれぞれ設定した。その際、ステップチャートを活用しながら計画を立てることができていたので、金額や買いたいものを整理しながら説明することができていた。予算内で買うことができるかを確認する場で教師と一緒に見直すことで、買いたいおみやげの金額を計算することができていたが、個人で考える時間だけでは買いたいものと金額についての理解をすることができていない状況も見られたことが課題である。

最後に、個人で買うものをまとめて全体で共有する場面を設けた。自分の考えを発表しそれぞれ意見交流をすることができたようだった。



【資料2】おみやげを個人で選んでいる場面



【資料3】予算内で買うことができるかを確認する場面



【資料4】ステップチャートを活用してまとめる場面

○まとめる段階について（自分の言葉でまとめる場面）

まとめとして、本時の学習を通して確認できたこと、わからなかったこと、もっと調べていきたいことなど自分の言葉で発表させた。生徒は、修学旅行の2日目にどのような活動を行うのかということの見通しを立てることができた。その中で、自分が考えたおみやげを買う計画と、友だちの買う計画の意見交流をすることで修学旅行での活動のイメージを膨らませることができていた。

【授業の考察】

フラッシュカードを使い、お金の計算の仕方を復習の場を設定し、金額を当てるなどお金の計算を行った。実際に、修学旅行で買いたいおみやげを選ぶ活動を通して、金銭の理解や計算の習熟を図った。その際、ステップチャートを使って、自分で選んだおみやげの代金を計算することで、修学旅行での活動内容の整理と意欲を高めることができた。また、自立活動のねらいからも、教師とのコミュニケーションの取り方なども授業の中で意識させることができた。

【成果と課題】（授業整理会およびチェックシートから明らかになったこと）

（成果）☆ステップチャートの活用をすることで、修学旅行の買い物をする際の流れが明らかになり、わかりやすく説明することができていた。

（課題）★お金の計算が不得意な生徒に対して、定期的なお金の学習や、実際にお店に行って買い物学習を行うなど社会に出るための自立活動が必要である。